

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要			
事業開始年度	昭和49年度～		
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	04 公民館
事務事業名	07	地区公民館管理運営事業	このシート作成に要した時間 4.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	市内13地区に在住の住民
目的 (何のために)	地区住民のニーズを取り入れた特色のある講座、教室等を企画して学習発表の場を提供する。広報、市ホームページを活用して公民館活動を積極的にPRする。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を目的とする。

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	地区公民館管理運営事業	施設整備を行うことにより、利用者に最適な生涯学習の場を提供する。	
	地区公民館運営審議会事業	運営審議会は、館長の諮問に応じ、各種事業の企画実施について調査審議する。	
	地区文化祭運営事業	地区住民の文化向上に資することを目的とした事業。	
	地区体育祭運営事業	地区住民の健康の増進を図ることを目的とした事業。	
	地区社会体育事業	スポーツ活動を通じて、地域コミュニティの育成を目的とした事業。	

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費		44,427	44,545	42,596
	必要人員人件費	千円	0.47人 3,743	0.81人 6,539	0.84人 6,852
	事業費		48,170	51,084	49,448
	国県支出金			3,336	
	受益者負担		343	325	436
	繰入金	千円			
その他()		304	270	345	
一般財源		47,523	40,614	48,667	
受益者負担比率	%	0.7%	0.6%	0.9%	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	説明		平成22年度に地区公民館(13館)を利用した人数		
	結果指標量	事業	83,693	87,541	76,979
	対前年比%	%	68	104.6	87.9
	活動コスト	円	48,170,000	51,084,000	49,449,000
単位当たりコスト		576	584	642	

(平成22年度事業)

事業の成果		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
成果指標名	年間利用者数	目標値(A)	140,000	140,000	100,000	100,000
		実績値(B)	83,693	87,541	76,979	到達目標値
		達成率(B/A)	59.78%	62.53%	76.98%	100,000

平成22年度に地区公民館(13地区)を利用した人数。利用者数を数値化することで、公民館のニーズ等の状況を把握する。

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	B
効率性の評価	コスト		
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	C

Check

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	各館の職員が定期的に情報交換を行い、新規利用者を開拓できるような講座等の事業を企画して利用者数の増加を図る。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
生涯学習の拠点として、文化芸術の振興及び災害時の避難場所となる重要な役割を担っている。しかし、施設の老朽化に伴う維持管理費の増加、また利用者に偏りがあるため、今後、受益者負担の見直しを検討する余地がある。	評価区分 <A~E>	B

Action

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検、法定点検等の報告書から、施設整備計画を作成する。光熱水費の削減可能な事項を決め、経費の節減を図る。 ・条例等を改正し、公民館使用料の料金改定及び統一を検討する。 ・文化活動を推進する。新規の講座を企画し開設する。民間等との共催事業も検討する。 					